

本宮市立歴史民俗資料館の今後について

1. 歴史

- ・昭和 49 年 4 月、旧本宮警察署庁舎(本宮字中條 63 番地)に設置
- ・昭和 56 年 4 月、旧本宮電機株式会社事務所・倉庫に移転、開館
- ・令和元年東日本台風により床上浸水。臨時休館
- ・令和 2 年 6 月 30 日再オープン

2. 現在の状況

①職員体制

- ・館長(兼務) 1 名
- ・会計年度任用職員(学芸員)常勤 1 名
- ・会計年度任用職員(学芸員)非常勤 1 名
- ・休日対応 シルバー人材センター(7 名が交代勤務)

3. 収蔵・展示内容

1 階 考古資料、企画展スペース

2 階 本宮宿資料(一部戦争関係、民具：小中学生見学用)

1 階収蔵室 被災資料(修復中資料)

2 階収蔵室 考古資料、旧町内掛け軸、字限図、ひな人形等

4. 建物の規模・構造

建設年	大正 13 年竣工(築 97 年)
鉄筋コンクリート造	2 階建て
延べ床面積	1,340 m ²
耐震判断	耐震ランクⅢ

5. 活用方針

①駅周辺の街中回遊施設として活用

奥州道中本宮宿関連の資料を展示することにより歴史と文化の振興とともに観光拠点的功能を持たせる。

県内で稀有な考古学的価値がある、県指定重要文化財「天皇壇出土埴輪」を収蔵展示し、古代から続く歴史文化の継続と発展について周知啓蒙する施設として活用を続ける。

②白沢ふれあい文化ホールとの相互補完的活用・連携をはかる

・歴史民俗資料館	・白沢ふれあい文化ホール
考古資料	民俗資料
本宮宿関連資料	文化関連資料
収蔵資料展開催事業	芸術関連資料
	特別展開催事業